

一般選抜（法経科第1部、生活科学科）小論文試験 出題例・解答例

三重短期大学では、2021年度入試より法経科第1部及び生活科学科の一般選抜において小論文試験を新たに導入することになりました。この小論文試験は、「提示された表やグラフから傾向や特徴を読み取り、それに対して意見を述べる」形式で行います。以下に出題例を掲載しますので、参考にしてください。

【出題例】

下の図は、6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間（1日当たり・国際比較）を調査したものです。

出典：内閣府「男女共同参画白書平成29年度版」本編I第3章第8図（図は略）

【設問1】（50点満点）

グラフを読み取り、日本の家事・育児関連時間に対するあなたの考えを400文字以内で書きなさい。

【解答例】

図から読み取れることは、次の点である。まず、どの国においても家事・育児にかかる夫婦合わせた1日当たりの総時間はおよそ8、9時間程度であり、この点での各国間の差はとくにみられない。重要なことは、日本では家事・育児に要する負担が圧倒的に妻に重くのしかかり、逆に夫の負担が極端に軽いことである。夫の家事・育児負担時間は他国の半分にも満たないものとなっている。

なぜ、日本だけ他国にはないこのような傾向がみられるのか。その背景として、夫が職場で長時間労働を強いられ、家事・育児にかかわる時間的余裕がないという事情が推測される。また、「男は仕事、女は家庭」という性役割分業の観念が、夫や夫婦双方に根強く支持されていることも、いまひとつの背景として指摘できるかもしれない。雇用のあり方や夫の家事・育児への参加を促す、行政的な支援を拡充することが今後求められよう。

(375字)